

## おすすめルート②「絵図でたどる」

にしぶくろ 西袋村名主を務め、市域で農民による初めての寺子屋しょうこどう「尚古堂」を開設した小澤豊功とよかつは、村の運営や寺子屋での教材のために多くの文書や絵図を収集・作成しました。現在、小澤家に伝わる絵図は市登録文化財【38】となっています。豊功が遺した絵図と現代の地図を見比べながら現地を歩き、江戸時代から脈々と続くまちの様子を探してみましょう。

### スタート 八潮市立資料館

【11・21・23・39・40】

八潮の歴史文化を学べる施設。

●● (400m)

### 西福寺【33】

嘉吉元年(1441)の開山記念樹と伝わるタブノキが育つ。

●● (600m)

### 西袋・柳之宮氷川神社【25】

西袋と柳之宮の両地区にまたがる神社。およそ180年間にわたって奉納された絵馬の数は八潮市内で1番多い。

●● (250m)

### 西袋陣屋公園

代官伊奈忠次の家臣である興津良次が陣屋を置いたと伝わる。堀が確認されている。

●● (250m)

### 氷川神社参道

一の鳥居と3つの庚申塔が見られる。



●● (550m)

### 五差路

絵図にある五差路が現地でも確認できる。

●● (250m)

### 西袋橋

江戸時代に行われた綾瀬川の河川改修により村が分断されたため架けられた。現在の橋は昭和40年(1965)に架けなおしたものの。

●● (250m)

### 旧河道

河川改修後に旧河道は新田開発される。現在でもかつての流路が地割として見える。

●● (550m)

### 綾瀬川堤防修築記念碑(八幡小学校)

明治43年(1910)に綾瀬川が決壊し、大きな被害をもたらされた。(参照「八潮誕生までの道のり」)

●● (350m)

### 観音寺【18・34】

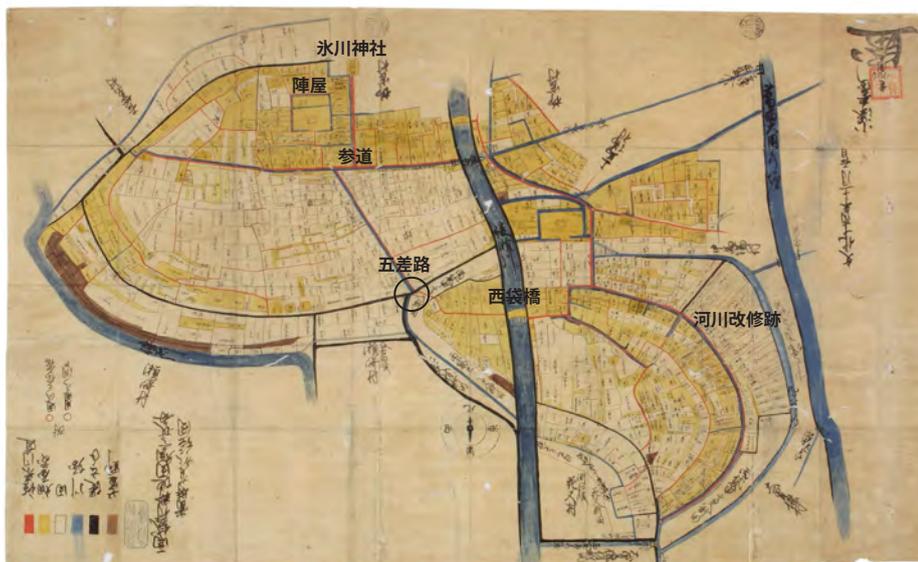
寛文13年(1673)の史料にも記される市内最大のイチョウが見られる。

●● (350m)

### ゴール 妙光寺【20・31】

文明3年(1471)開創と伝わる。江戸期の地誌『新編武蔵風土記稿』に境内神社として記載の稲荷社・弁天社が現在も祀られる。

\*ルートは裏面の●●●を参考にしてください



西袋村耕地田畑壹枚每當時有形絵図(個人蔵)

### 綾瀬川の変遷



綾瀬川は、かつて西袋・柳之宮付近で大きく蛇行していましたが、江戸時代に改修され、直道化しました。これにより氾濫の危険性が低下するとともに、新田開発が促進され舟運の利便性も高まりました。